

平成 22(2010)年 12 月 1 日(火)発行：年末年始(17)号

あ じ の 故 郷

高野山真言宗 天応山神保寺 千手院情報誌

編集者：川上 修 註

●平成22年下半年の行事報告

孟蘭盆会施餓鬼供養が境内テントで



8月10日(火)午後3時より、お塔婆と新盆の供養が行われました。

今年は、本堂建設中のため、境内の仮設テント内にて規模を縮小し、府中の蓮花寺

住職、西久保の宝生寺住職、松林の長福寺副住職、小和田の広徳寺副住職の四師のみにご出仕いただきました。

尚、平成23年の孟蘭盆会施餓鬼供養は、新しい本堂で執行を予定しております。

秋季彼岸会に稲荷講と写経会を開催

9月23日(木)秋分の日の前11時より境内の稲荷堂前にて、御詠歌の奉詠に続き仏前勤行次第の読誦と法話。その後、書院にていなり寿司を囲みながらの懇談と楽しい一時を過ごすことが出来ました。

京浜地区枢議参与檀信徒研修会参加

10月18日(月)～19日(火)箱根湯本の富士谷ホテル会場で、相模宗務所担当の京浜地区枢議参与檀信徒研修会が行われ、千手院から、白井好之護寺会会長・白井精治檀信徒協議会相模支部副支部長・楠本実護寺会監査役・原田吉一護寺会書記・白井又三子護寺会六組組長・水嶋利子護寺会七組世話人・鈴木奈々子護寺会九組世話人の以上8名が参加を致しました。

講演① 『二人三脚で乗り越えた介護の日々』今も日も二人で。講師は女優の山明子さん。ご主人の介護生活の中で、多くの経験が積み、苦しみや悲しみの感情から、徐々に現状を受け入れるようになり、人は病気で死ぬのではなく、寿命によって人生を終えるものなのだ、思えるように成られたそうです。

日々の出来事を、苦難と思ひ悲しみ恨むのか、課題として立ち向かっていくかによって、人生は大きく変わっていきま。一度しかない人生を悔いのないものにするためにも、前向きな解釈を続けていくよう、参加者を励まされました。

講演② 『Power of Music』人はなぜ、音楽に心・気持ちを動かされるのか。講師は昭和音楽大学教授の志水哲雄先生。音楽が人の心を与える影響を、学術的な解説を元に、実際の音楽を聞きながらご説明いただきました。

講演③ 『高野百景に見る高野山の伝承』講師は高野山報恩院副住職山口文章僧正。高野山に伝わる多くの伝承を元に、奥の院の御廟付近のお話や、高野山開創当寺のお大師様と白髭稻荷様のやりとり、

高野山内の参道にまつわる霊域を守るための工夫など、大変興味深いお話をしていただきました。

本堂の屋根に宝珠が安置されました

10月29日(金)午前11時より本堂屋根の頂上に「宝珠」が安置されました。

台風の前中、この日の午前中のみ晴れ間が広がり、それ以外は悪天候が続きましたが、棟梁と板金職人の手により無事に工事は完了致しました。

造りは手絞りの特注品で、銅版を回転させ、棒で絞りながら形を整えた物です。

立ち会いは、根岸設計士と建設委員会役員一同が見守りながらの施工です。

本堂屋根の銅版葺き完成の検査確認

11月22日(月)午後1時より本堂屋根の銅版葺きの検査確認が行われました。

立ち会いは、井上棟梁・根岸設計士・白井会長以下建設委員会役員が、足場を登って屋根の細部まで確認をし、銅版葺きの状態を完成として了解を致しました。



仏像ガール講演会を北の寺で開催

11月28日(日)午後2時より北の寺(辻堂に有る宝珠寺)の本堂で、「仏像ガール」廣瀬郁美先生(大正大学講師・NHK等にも出演)の講演会が相模自治布教団主催で行われました。

千手院からも40名程の関係者が参加し、

全体では百名を超える参加者の元、楽しい講演会を無事終えることが出来ました。

本堂内陣の格天井が完成致しました

11月30日に本堂内陣の格天井枠に天井板が納まり完成を致しました。

内陣の天井板40枚は、建設委員会の役員



一回によるご寄付で完成致しました。

尚、外陣天井板（1枚二万円）・屋根銅版（1枚三千円）・軒下の吊り灯籠（1基十万円）で1対二十万円）など、ご希望の金額に應じたご寄付をしていただけます。

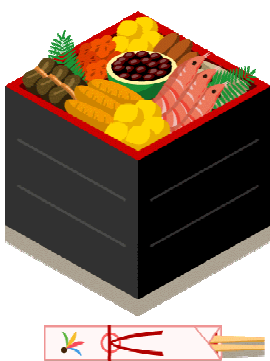
またとない機会ですので、詳しい説明は千手院までお問い合わせ下さい。

●平成22年師走の行事予定

年越しの祈願法会（ご守護札ご祈願）

大晦日午後11時30分より元旦午前0時30分まで、新年のお守り札をご祈願する読経会と茶話会を開催いたします。

坂本堂（書院）での年越しは是が最後ですが、良い思い出になるようお集まりいただき、読経の後は、食事（精進おせち）をしながら歓談の場を設けております。



●平成23年上半年の行事予定

初詣受付

【元旦く3日】正月の三箇日は、初詣の方々をお接待しております。年頭に御本尊様やご先祖様にご挨拶をいたしましょう。

新年答礼

【1月4日の終日】住職が近隣の護寺会員宅にお守り札を持って伺います。天候や仏事の都合で伺えない場合も有りますので、その際はご了承下さいませ。

春季彼岸会 閻魔十王祭

【3月21日（日）午前10時】春分の日の午前10時より、閻魔十王講の例大祭に、御詠歌、読経、法話、茶話会を致します。

閻魔十王さまは、只今彩色修復中です。で、場合によっては、ご不在の中を遙拝することに成るかもしれませんが、お帰りをお待ち受ける形での法会を開催させていただきます。

平成23（2011）年の回忌一覧表

1	周忌	平成	22	(2010)	年
3	回忌	平成	21	(2009)	年
7	回忌	平成	17	(2005)	年
13	回忌	平成	11	(1999)	年
17	回忌	平成	7	(1995)	年
23	回忌	平成	1	(1989)	年
25	回忌	昭和	62	(1987)	年
27	回忌	昭和	60	(1985)	年
33	回忌	昭和	54	(1979)	年
37	回忌	昭和	50	(1975)	年
50	回忌	昭和	37	(1962)	年

※ご法事をご希望の方は、お寺に日時の確認をしてからお決め下さい。同じ日時に法事の重なる場合がありますので、先着順とさせていただきます。

◎必要事項は左記の内容です。

- ① 日時と場所の確認を一番にします。
- ② 卒塔婆の名簿をふりがな付きで提出。
- ③ 参加者の人数を前日までに確認。
- ④ 食事の有無と場所を確保します。
- ⑤ 生花と供物の注文を頼むか持参か。
- ⑥ 位牌と遺影は機にに応じて考えましょう。

お墓の環境を守るためのルールです

- ① お墓の永代使用権は、護寺会員が管理権限者任職の指示に従っている限り永代に使用できる権利の事をいいます。お墓には、所有権がありません、個人の自由で譲渡は出来ません。必ず祠祭の継承者を任職にお知らせください。
- ② 既存の墓石改修は、必ず任職の許可を得てから行ってください。施主と石材店は必ずそろって任職との面談で施行を進めることが義務となります。
- ③ 墓所での読経は、墓石を外す前と完成時の二回行います。今まで失念していた方はお申し出ください。現在の墓所管理は湘南メモリアルネット（沼上氏）に委託しています。
- ④ 境内墓所と飛地墓所は、個々の権利の主張より全体の融和を第一に考えております。任職の権限を軽視した行動は、墓所の環境を守ることが困難に成りかねません。必ず任職に報告の上末永く良い環境を守っていきましょう。

以上

高野山真言宗 天応山神保寺

せん じゅ いん
千 手 院

〒253-0015 神奈川県茅ヶ崎市代官町1番4号

電話 0467(51)9758

FAX 0467(51)0561

ホーム 検索「千手院の寺報」記入

メール senjuin@shusen.com